

**答** 指定管理料の縮減はもとより、指定管理者が独自に有するノウハウを発揮すること、今まで以上に適切な施設の管理運営やサービスの向上が期待される。

**問** 指定管理者の公募を行うにあたって、民間事業者が参入しやすいようわかりやすい情報開示が求められるが、どのように示していくのか。

**答** 募集要綱中に、本市と指定管理者の役割や修繕区分等を明記することで、参入希望者が現状を把握できるよう努める。

**○平成27年度行田市一般会計補正予算について**

**問** 埼玉県信用保証協会による代位弁済が発生した場合に本市が負担する損失補償額の内容とは。

**答** 未返済融資額のうち、金融機関が20%を、日本政策金融公庫が64%をそれぞれ負担し、残りの16%のうち、埼玉県信用保証協会と本市が2分の1ずつ負担することとなっている。

また、本市と埼玉県信用保証協会との契約により、埼玉県信用保証協会が代位弁済を

行った際にかかる利子を、本市が負担することとしているため、未返済融資額の8%に金利分を加えた金額を損失補償金として負担している。

### 健康福祉常任委員会

当委員会では、付託を受けた1議案及び総務文教常任委員会から審査依頼の受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

**○行田市介護保険条例の一部を改正する条例について**

**問** 本市の介護保険料は、県内63自治体のうち23番目に高いが、市の認識は。

**答** 介護保険料を算定する際、基本となる介護給付費が、高齢化率や介護保険利用者の増加等の要因で毎年増加してい



健康福祉常任委員会

る。また、市内の介護施設整備状況などのさまざまな要因が重なり、県内で高いところに位置しているものである。

**問** 市民税非課税世帯のうち特に所得の低い方に対する減額措置との説明があったが、「世帯」の捉え方は。

**答** 住民基本台帳に基づき、把握するものである。

**○平成27年度行田市一般会計補正予算について**

**問** (仮称)南第2学童保育室が新設されると利用状況はどのように変わるのか。

**答** 現在、南小学校では、南学童保育室を利用する44人とみずしる学童保育室を利用する23人の児童の他、送迎支援により、学区外の学童保育室

を利用してはいる児童がいる状況である。そのため、南第2学童保育室を設置することにより、入室希望者全員を南小学校区内で受入れが可能となる。

**問** 今後の入室希望児童数等の試算は行なったのか。

**答** 南小学校区における今後5年間の充足率は、南学童保育室及びみずしる学童保育室ともに100%を超える試算

となったため、施設設置は必要と考える。

**問** 余裕教室の改修費用2千万円は高額だが、主な要因は。

**答** 防犯上の観点から小学校と学童保育室を区分する必要が生じたため、学童保育室用のトイレを建物外に設置する費用が大きな要因である。

**問** 3歳未満児のうち第3子以降の保育料が無料となることで、今後、子どもを保育園に預けて働く保護者も増えることが考えられるが、保育園の定員等を増やす考えはあるか。

**答** 3歳未満児を預けるためには、保育園が必要となることから、幼稚園と保育園の機能を併せ持つ、認定こども園への移行について、支援していきたい。

### 議会運営委員会

6月3日に6月定例会運営のための委員会を開催し、会期日程、議案及び請願の取り扱いについて協議しました。その際、一般質問の発言順序をくじにより決定しました。

また、6月11日には議会運

営に関すること及び後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の実施について、30日には追加議案の取り扱いなどについて協議しました。

なお、本会議終了後に次期定例会の初日及び日程表(予定)について協議するとともに、6月定例会の総括を行いました。

### 議員表彰

全国市議会議長会及び埼玉県市議会議長会の各定期総会において、市議会議員として永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績により、各議長会から吉田豊彦議員が表彰されました。

○市議会議員在職20年以上



表彰の伝達を受ける吉田議員